

2026 年 8 月 6 日

三菱ガス化学株式会社

2027 年国際園芸博覧会横浜市発信拠点への協賛契約締結

三菱ガス化学株式会社(本社:東京都千代田区、社長:伊佐早 禎則、以下、当社)は、2027 年 3 月 19 日(金)から 9 月 26 日(日)に神奈川県横浜市で開催される 2027 年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)において、横浜市が設置する Urban GX Village 内の「建物空間を活用した発信拠点(以下、横浜市発信拠点)」における先進技術の展示体験に関し、トリプルスターパートナーとして協賛契約を締結しました。

当社は本協賛において、横浜市発信拠点内に以下の展示を行う予定です。

■環境循環型メタノール「Carbopath™」

当社は、基礎化学品の一つであるメタノール総合メーカーとして、化学品原料に加え、船舶燃料などのエネルギー分野におけるメタノールの普及に取り組んでおり、その一環として、本年 2 月には横浜市とも協力して、メタノールの船舶から船舶への補油を横浜港内で実施しました。

メタノールは CO₂や廃棄物からも合成することが可能であり、当社はこれらからメタノールを介してエネルギーや素材を生み出すための環境循環型プラットフォーム「Carbopath™」の推進を通じて、循環型社会の実現を目指しています。

横浜市発信拠点では、ジオラマや映像コンテンツなどを用いて、船舶燃料などのエネルギー用途から自動車部品、建築材料といった素材用途まで、メタノールが私たちの暮らしにどのように役立っているかを紹介します。幅広い役割を持つメタノールを介して、廃棄物や CO₂が資源として循環する環境循環型の未来社会を体感できる展示としています。

■軽量性・耐衝撃性・デザイン自由度を備えたポリカーボネートとペロブスカイト太陽電池の一体化

当社は、長年培ってきたポリカーボネートの材料・加工技術を活かし、次世代太陽電池「ペロブスカイト太陽電池」分野における新たな価値創出に取り組んでいます。

軽量性・耐衝撃性・高いデザイン自由度を備えたポリカーボネートとペロブスカイト太陽電池を組み合わせることで、設置可能な場所の拡大が期待されます。

横浜市発信拠点では、株式会社エネコートテクノロジー(本社:京都府久世郡、社長:加藤 尚哉、以下、エネコート)と連携し、エネコートが開発したペロブスカイト太陽電池と当社の高機能ポリカーボネート部材を一体化した、ペロブスカイト太陽電池の新たな実装イメージを提案するコンセプト展示を行います。

ペロブスカイト太陽電池が街の景観に自然に溶け込みながらエネルギーを生み出す「未来の街」を模型で表現することで、建物やインフラなどへの実装可能性を示す展示としています。

当社はミッション「社会と分かち合える価値の創造」のもと、化学に基づく多岐に渡る事業を展開して、社会課題解決の貢献と、未来社会に必要な価値の創出に取り組んでおります。

GREEN×EXPO 2027 にご来場の際は、横浜市発信拠点にお越しいただき、ぜひ当社の展示をご覧ください。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社 総務人事部広報グループ
TEL : 03-3283-5040 <https://www.mgc.co.jp>

